

財 産 目 録

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
普通預金		
全国信用協同組合連合会大阪支店		
口座番号 NO. 3843	1,906,097	
兵庫県信用組合本店営業部		
口座番号 NO. 144292	4,808,988	
流動資産合計		6,715,085
2. 固定資産		
(1) 特定資産		
退職給付引当資産		
定期預金		
兵庫県信用組合本店営業部		
口座番号 NO. 3464975	2,520,000	
特定資産合計	2,520,000	
(2) その他固定資産		
電話加入権	125,284	
その他固定資産合計	125,284	
固定資産合計		2,645,284
資産合計		9,360,369
II 負債の部		
1. 固定負債		
退職給付引当金	2,520,000	
固定負債合計		2,520,000
負債合計		2,520,000
III 正味財産の部		6,840,369

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 普通預金残高証明との差異について。

期間収支を適正に表示するため、4月2日支払の社会保険料 97,206 円を当期に繰入した。

2 特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	2,100,000	420,000	0	2,520,000
合 計	2,100,000	420,000	0	2,520,000

正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	12,150,000	13,900,000	△ 1,750,000
均等割	3,000,000	4,800,000	△ 1,800,000
事業分量割	9,150,000	9,100,000	50,000
② 雑収益	690	1,030	△ 340
受取利息	690	1,030	△ 340
雑収益	0	0	0
経常収益計	12,150,690	13,901,030	△ 1,750,340
(2) 経常費用			
① 事業費	7,875,679	8,417,942	△ 542,263
臨時雇賃金	834,240	844,160	△ 9,920
研修費	1,836,533	1,657,311	179,222
会議費	1,910,883	1,775,705	135,178
広告宣伝費	338,840	441,440	△ 102,600
防犯事業費	119,504	119,504	0
通信運搬費	295,498	279,400	16,098
旅費交通費	280,180	420,120	△ 139,940
関係団体連携費	777,045	520,522	256,523
慶弔費	310,000	1,200,000	△ 890,000
印刷製本費	49,356	36,180	13,176
租税公課	22,000	22,000	0
貸借料	1,101,600	1,101,600	0
予備費	0	0	0
② 管理費	6,820,311	6,717,462	102,849
役員報酬	3,600,000	3,600,000	0
賞与	600,000	600,000	0
監事報酬	600,000	600,000	0
退職給付費用	420,000	420,000	0
通勤費	388,800	388,800	0
福利厚生費	702,657	697,778	4,879
消耗品費	36,374	18,662	17,712
什器備品費	0	0	0

雑費	472,480	392,222	80,258
予備費	0	0	0
經常費用計	14,695,990	15,135,404	△ 439,414
当期經常増減額	△2,545,300	△1,234,374	△ 3,779,674
当期一般正味財産増減額	△2,545,300	△1,234,374	△ 3,779,674
一般正味財産期首残高	9,385,669	10,620,043	△ 1,234,374
一般正味財産期末残高	6,840,369	9,385,669	△ 2,545,300

正味財産増減計算書内訳表

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科 目	実施事業等会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費		12,150,000	12,150,000
均等割		3,000,000	3,000,000
事業分量割		9,150,000	9,150,000
② 雑収益		690	690
受取利息		690	690
雑収益		0	0
経常収益計		12,150,690	12,150,690
(2) 経常費用			
① 事業費	1,438,298	0	1,438,298
役員報酬	360,000		360,000
賞与	60,000		60,000
通勤費	38,880		38,880
臨時雇賃金	834,240		834,240
防犯事業費	119,504		119,504
通信運搬費	25,674		25,674
雑費	0		0
② 管理費		13,257,692	13,257,692
役員報酬		3,240,000	3,240,000
賞与		540,000	540,000
監事報酬		600,000	600,000
退職給付費用		420,000	420,000
通勤費		349,920	349,920
福利厚生費		702,657	702,657
研修費		1,836,533	1,836,533
会議費		1,910,883	1,910,883
広告宣伝費		338,840	338,840
通信運搬費		269,824	269,824
旅費交通費		280,180	280,180
関係団体連携費		777,045	777,045
慶弔費		310,000	310,000
印刷製本費		49,356	49,356
租税公課		22,000	22,000

貸借料		1,101,600	1,101,600
消耗品費		36,374	36,374
什器備品費		0	0
雑費		472,480	472,480
予備費		0	0
經常費用計	1,438,298	13,257,692	14,695,990
当期經常増減額	△ 1,438,298	△ 1,107,002	△ 2,545,300
当期一般正味財産増減額	△ 1,438,298	△ 1,107,002	△ 2,545,300
一般正味財産期首残高	2,816,152	6,569,517	9,385,669
一般正味財産期末残高	1,377,854	5,462,515	6,840,369

収 支 計 算 書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 経常収支の部				
1. 経常収益の部				
(1) 受取会費	12,150,000	12,150,000	0	
均等割	3,000,000	3,000,000	0	
事業分量割	9,150,000	9,150,000	0	
(2) 雑収益	1,000	690	310	
受取利息	1,000	690	310	
雑収益	0	0	0	
経常収益計	12,151,000	12,150,690	310	
2. 経常支出の部				
(1) 事業費	6,000,000	7,875,679	△1,875,679	
臨時雇賃金	900,000	834,240	65,760	
研修費	600,000	1,836,533	△1,236,533	
会議費	950,000	1,910,883	△960,883	
広告宣伝費	500,000	338,840	161,160	
防犯事業費	120,000	119,504	496	
通信運搬費	300,000	295,498	4,502	
旅費交通費	550,000	280,180	269,820	
関係団体連携費	400,000	777,045	△377,045	
慶弔費	250,000	310,000	△60,000	
印刷製本費	100,000	49,356	50,644	
租税公課	30,000	22,000	8,000	
貸借料	1,200,000	1,101,600	98,400	
予備費	100,000	0	100,000	
(2) 管理費	6,960,000	6,820,311	139,689	
役員報酬	3,600,000	3,600,000	0	
賞与	600,000	600,000	0	
監事報酬	600,000	600,000	0	
退職給付費用	420,000	420,000	0	
通勤費	390,000	388,800	1,200	
福利厚生費	800,000	702,657	97,343	
消耗品費	50,000	36,374	13,626	
什器備品費	30,000	0	30,000	
雑費	370,000	472,480	△102,480	
予備費	100,000	0	100,000	
経常支出合計	12,960,000	14,695,990	△1,735,990	
経常収支差額	△809,000	△2,545,300	1,736,300	
当期収支差額	△809,000	△2,545,300	1,736,300	
前期繰越収支差額	9,000,000	9,385,669	△385,669	
次期繰越収支差額	8,191,000	6,840,369	1,350,631	

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、前受金、立替金及び預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 ・ 預 金	9,260,385	6,715,085
合 計	9,260,385	6,715,085
次期繰越収支差額	9,385,669	6,840,369

監 査 報 告

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの事業年度の理事の職務執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事は、職務の執行に関する不正の行為又は法定若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく示しているものと認めます。

以上

平成30年5月10日

監 事 土 井 義 和

監 事 松 田 順 治

以上のとおり、相違ございません。

一般社団法人 兵庫県信用組合協会

会 長 土 肥 貴 弘

副 会 長 西 谷 茂 樹

副 会 長 山 本 英 博

常務理事 伊勢田 佳 博